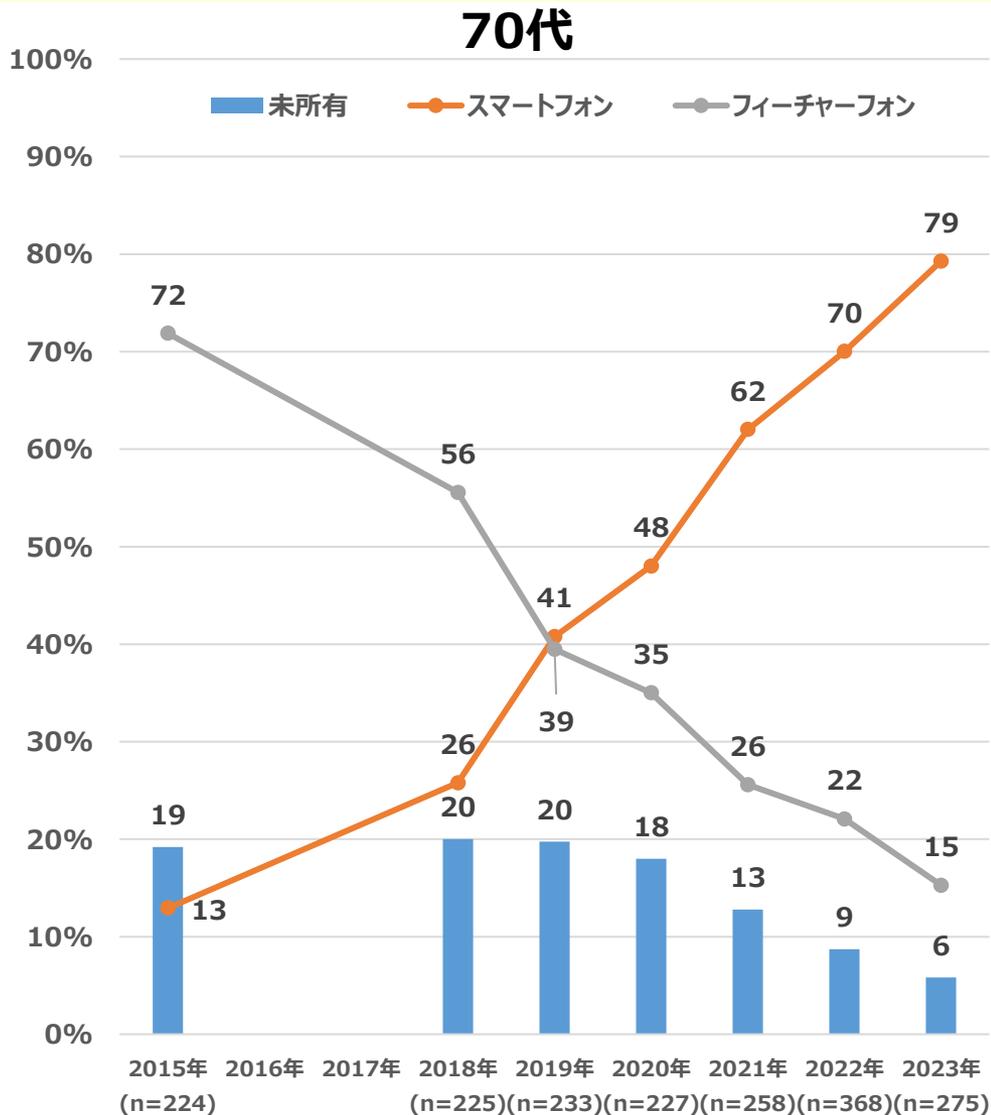
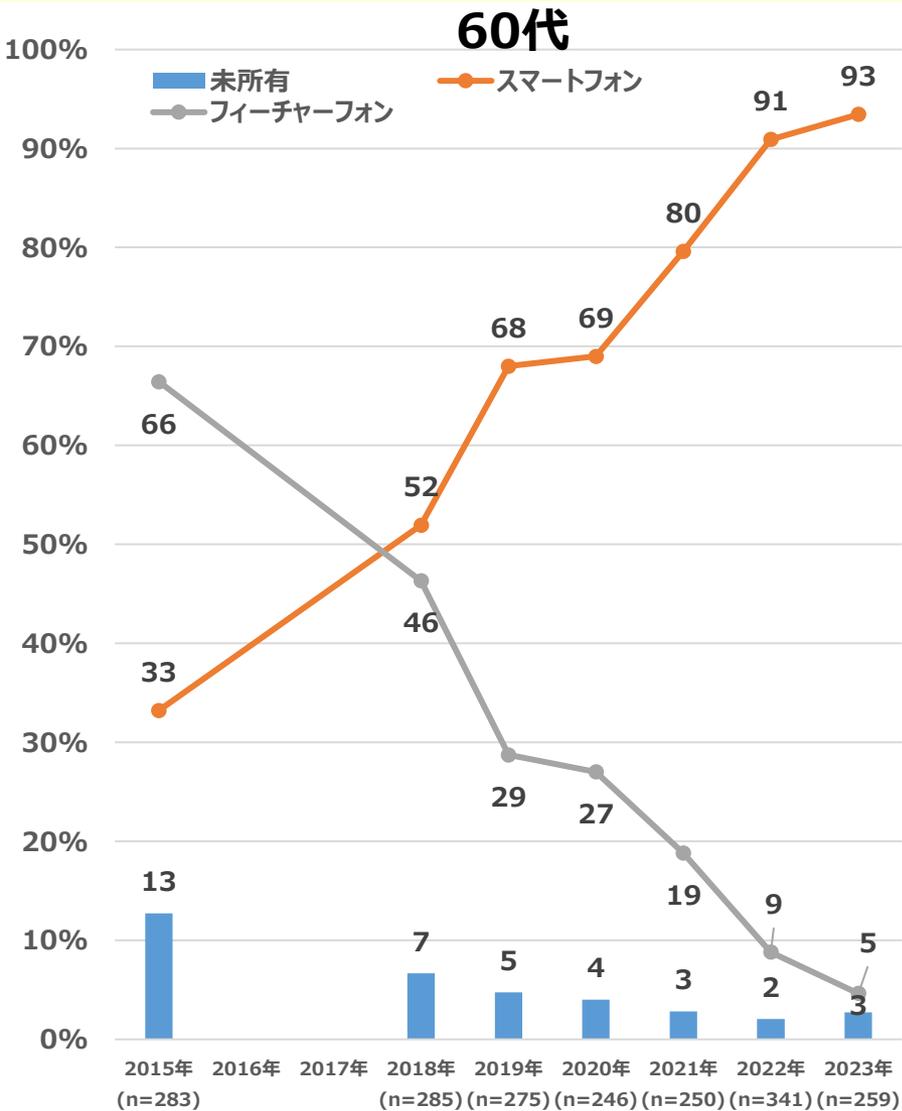




高齢者の外出を伴う人との交流と 「ICT利用時間」「趣味活動」の関連

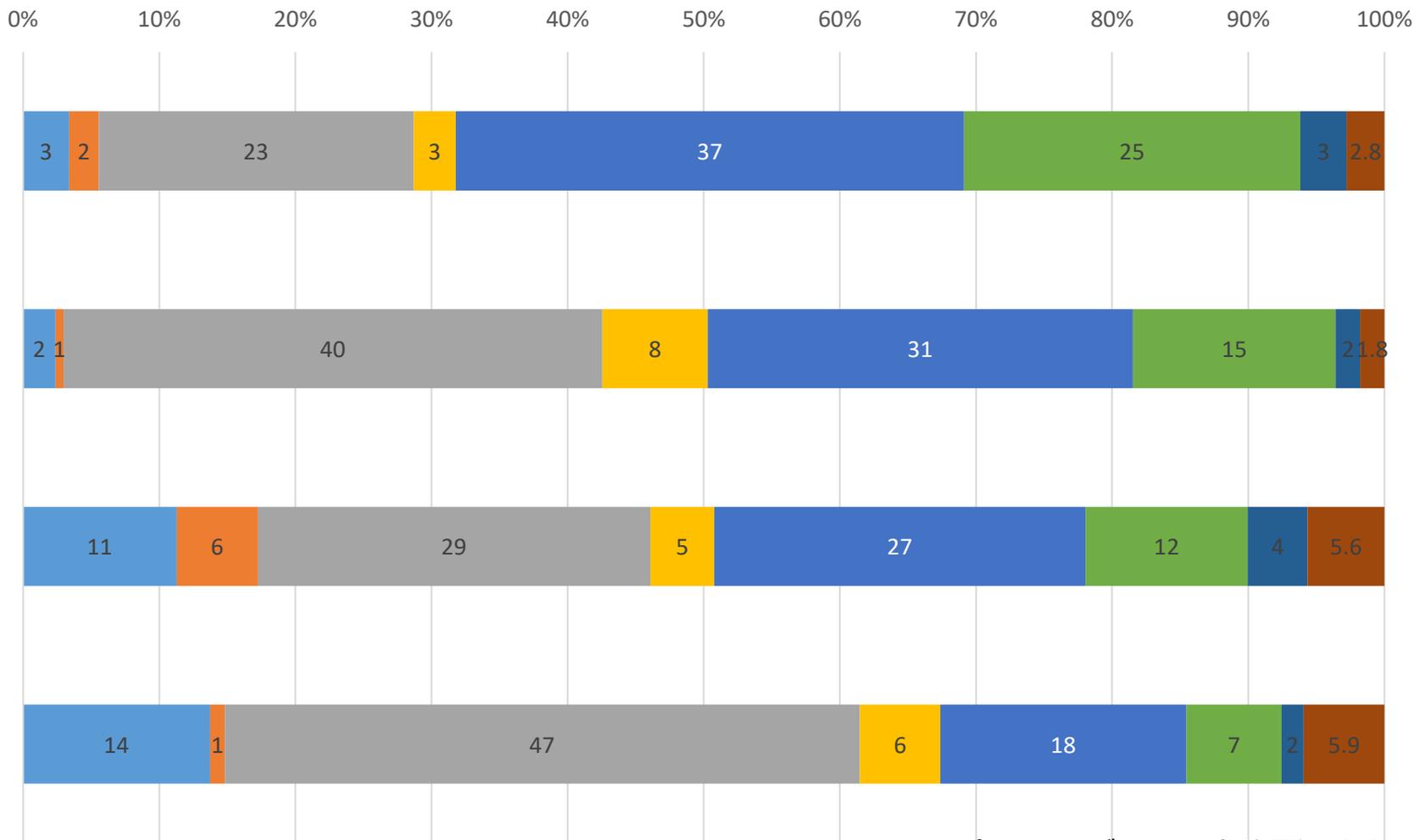
- 水野 一成 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 近藤 勢津子 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 吉良 文夫 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 是永 論 (立教大学社会学部メディア社会学科)

スマホ所有率はさらに伸び、60代93%、70代79%



60代は97.7% 70代は94.2%が1つ以上のICT機器を所有している

- フィチャーフォン
- スマートフォンとタブレット
- その他
- フィチャーフォンとパソコン
- スマートフォンとパソコン
- すべて未所有
- スマートフォン
- スマートフォンとパソコンとタブレット



※パソコン・タブレットは家族所有を含む

高齢者がICTを利活用すると「社会活動が促進」「主観的健康感が上がる」「生活に変化が見られる」等、肯定的な影響が見られる

シニア層がインターネットの利用頻度が高いと、**社会的活動が促進**される
桂瑠以・橋本和幸(2019)

非対面交流中心であっても、主観的健康に寄与する
福定正城・斉藤雅茂・近藤克則・斎藤民（2022）

情報に関することを中心に購買行動やペーパーレスに関して**生活の変化**
水野一成・近藤勢津子・吉良文夫(2022)

高齢者において趣味活動から外出頻度向上につながり、健康水準向上に繋がる

趣味を含む個人活動が活発な者の特性は、外出時の身体の辛さがない、親しい友人や仲間が多い、**活動情報をよく知っている**、活動情報を教えてくれる人がいる者
岡本 明・岡田 進一・白澤 政和(2006)

趣味を含む社会活動（ボランティア、スポーツ、シニアクラブ、町内会グループ）の性質と回数の両方が、**健康的なライフスタイル行動を指向した社会参加の長期的な影響**を決定すること
Takumi Abe, Satoshi Seino, Yui Tomine, Mariko Nishi, Toshiki Hata, Shoji Shinkai, Yoshinori Fujiwara, Akihiko Kitamura(2022)

外出頻度が低いほど**身体・心理・社会的側面での健康水準は低い**
藤田 幸司, 藤原 佳典, 熊谷 修, 渡辺 修一郎, 吉田 祐子, 本橋 豊, 新開 省二(2004)

新型コロナ禍の影響で趣味活動に影響を受けた

新型コロナ禍の中の日常で**困っている**ことは、男女ともに「**趣味活動ができない**」が最も多かった。また、男性に比べて女性は、外出頻度が減少したと回答したもの（75.1%）や外出意欲が低下したもの（50.0%）が有意に多かった

古田 栞菜・佐々木 八千代・野田 さおり・白井 みどり(2022)

新型コロナにより「趣味・習い事」「食事」「旅行」「地域・ボランティア活動」など、**余暇活動**や**生きがいを感じる活動の実施頻度が特に大きく低下**

和田(2022)

対面活動においても、ICTを利活用したことによって生じた人との関係の変化（関係が密になる等、深化する、関係が復活する・新たな友人ができる等、拡大する）が**対面交流の頻度にも影響**を与えている。また、対面交流の頻度は女性が多い。

水野一成・近藤勢津子・吉良文夫(2023)

⇒「**対面交流**」と「**趣味の頻度**」「**ICT利活用の頻度**」の**関係**について、調査・分析した研究は少ない。

目的

シニア層における対面交流の頻度が、趣味の頻度・ICT利活用の頻度によって増加するのかを明らかにする

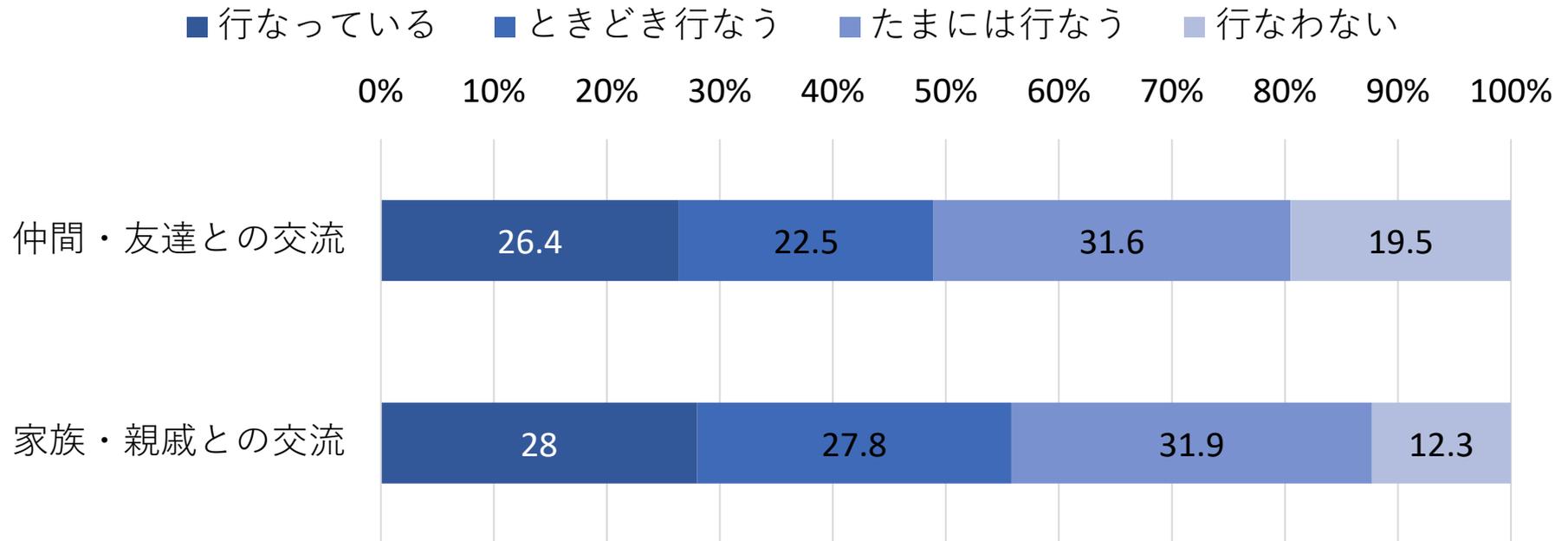
分析手法【重回帰分析】

目的変数・・・「対面交流をする頻度」

説明変数・・・「趣味の頻度」「インターネット利用時間」「年齢」「性別」

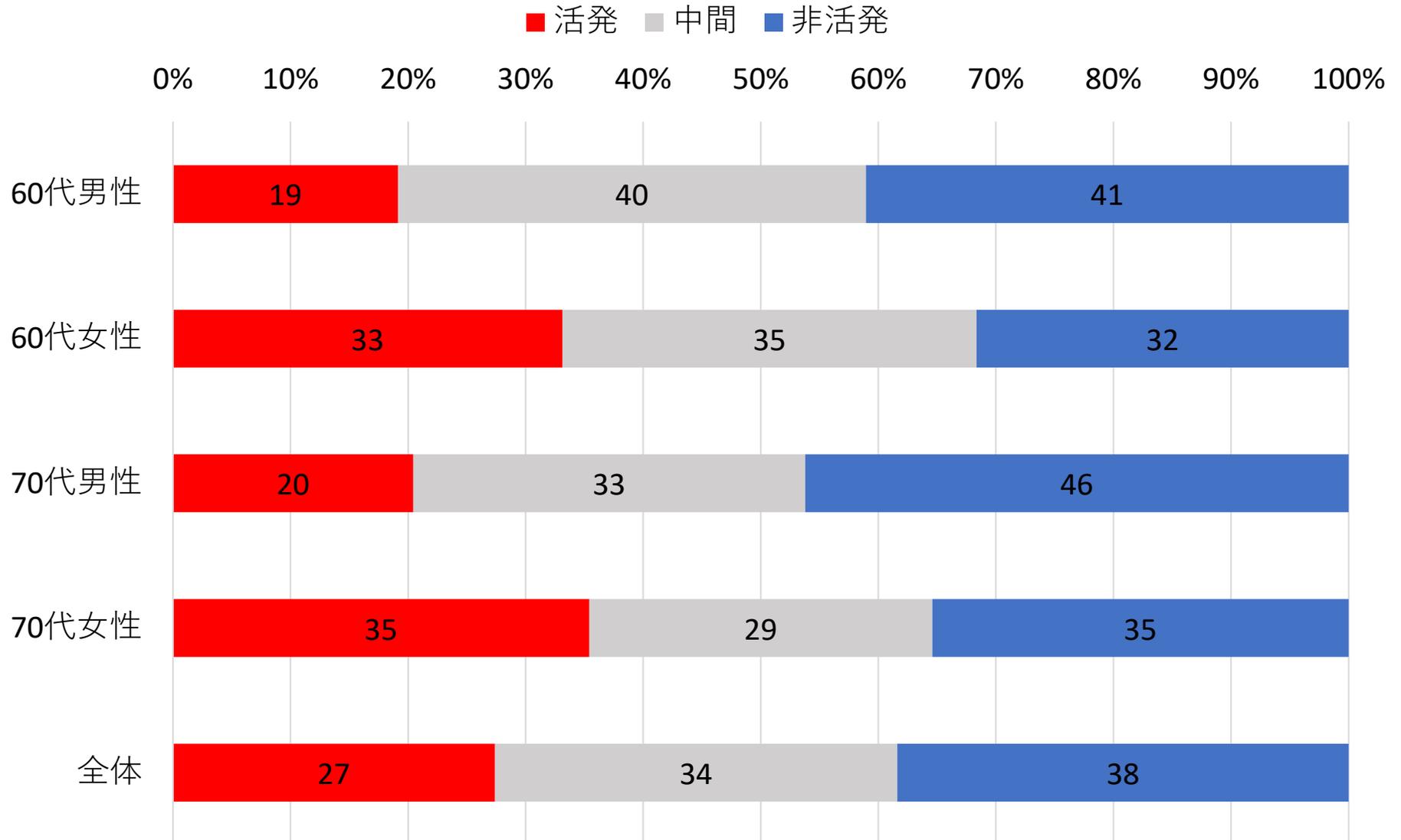
調査概要

調査時期	2023.1
調査方法	訪問留置調査法
調査対象	全国, 60代及び70代
割付	性別・年齢・都道府県・都市規模
サンプル数	1350

「旅行」「散歩」「庭いじり」が3割を超える。9割を超えるシニアが趣味を持っている。**点数化（8点～2点）**

行っている・・・4点 ときどき行なう・・・3点 たまには行なう・・・2点 行かない・・・1点

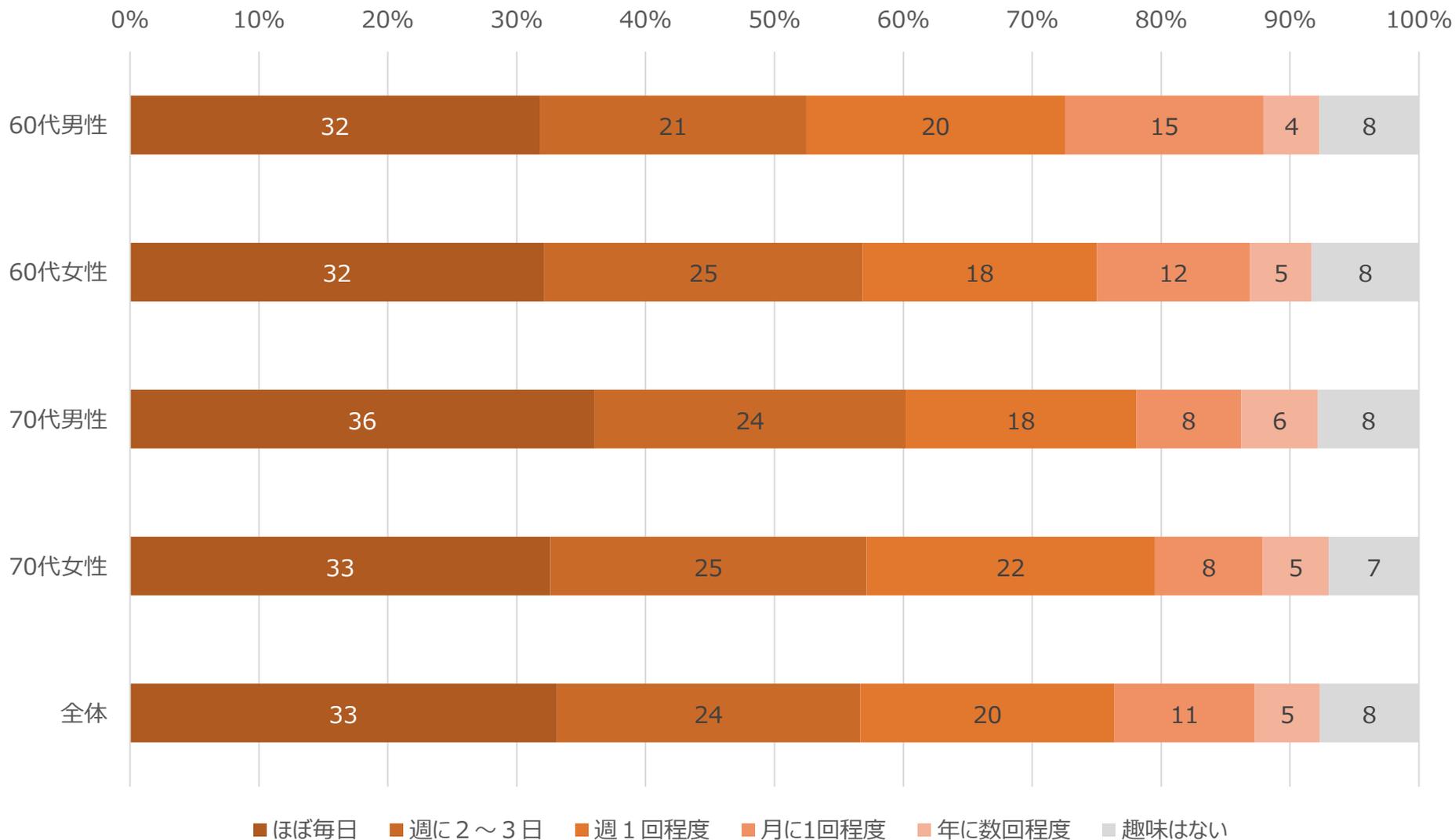
得点化された対面交流の頻度を基に「活発」「中間」「非活発」に分ける



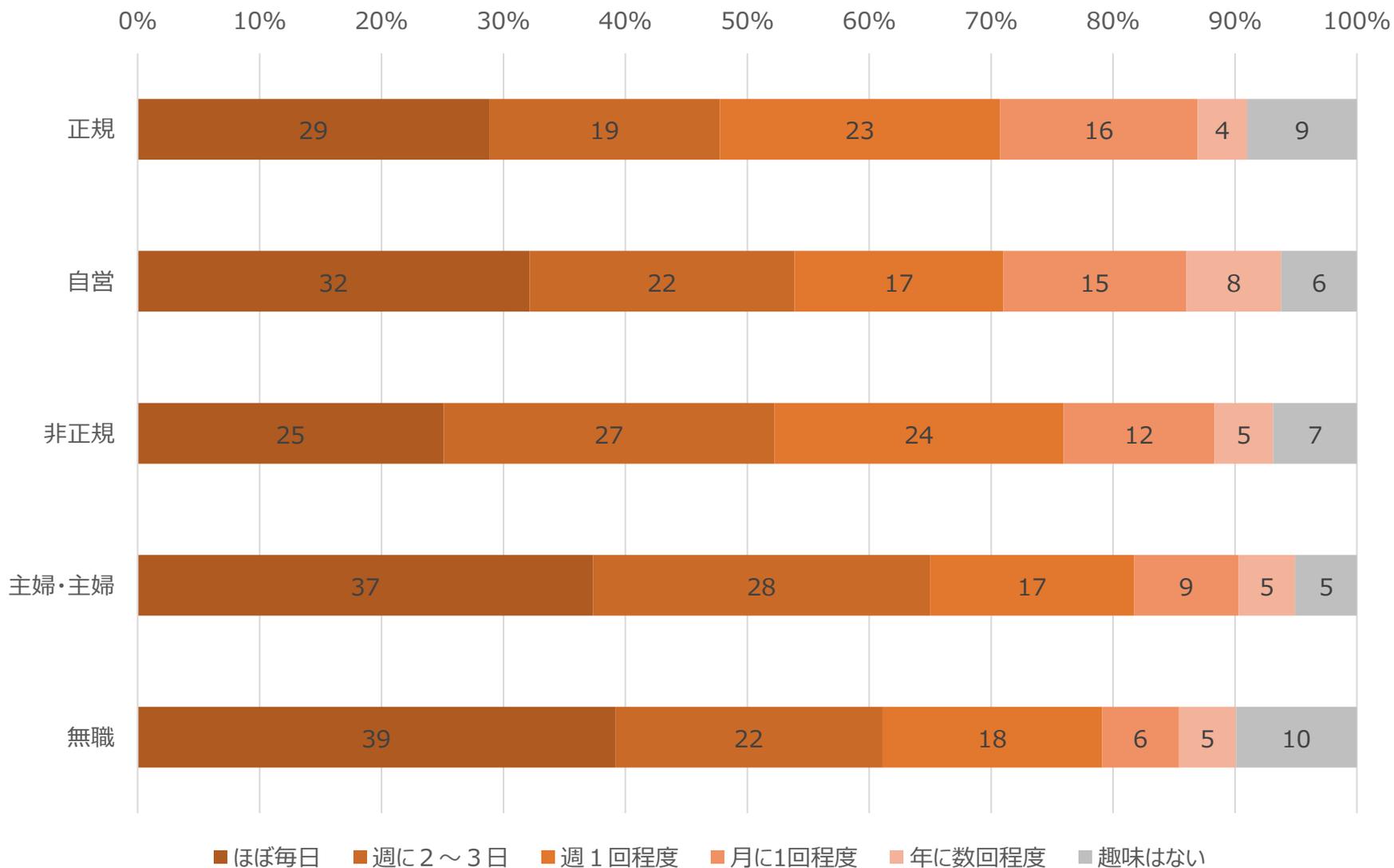
「旅行」「散歩」「庭いじり」が3割を超える。9割を超えるシニアが趣味を持っている。

	60代男性	60代女性	70代男性	70代女性	全体
旅行	33.6	34.5	30.7	32.6	32.9
散歩・ウォーキング	28.1	27.4	37.9	37.2	32.7
庭いじり・ガーデニング・野菜作り	20.4	31.0	27.6	43.4	31.0
読書	21.9	28.3	22.9	28.6	25.6
自身が行なうスポーツ	28.4	20.5	25.7	22.1	24.1
スポーツ観戦	31.5	14.6	33.2	14.0	22.9
音楽鑑賞	23.8	22.9	19.7	19.9	21.6
映画鑑賞	22.8	25.0	18.8	19.4	21.5
料理	10.2	21.4	12.2	28.0	18.4
インターネット	29.0	14.9	19.7	7.0	17.3
手芸	0.9	25.6	0.9	26.7	14.1
学習・自己啓発	11.1	11.0	13.5	11.9	11.9
行楽・ドライブ	11.7	14.0	11.0	10.0	11.6
ゲーム（囲碁・将棋含む）	14.2	10.7	14.7	6.7	11.4
カラオケ・合唱	8.3	9.2	10.3	13.7	10.5
グルメ	6.8	14.6	5.3	12.1	9.9
美術鑑賞	7.1	9.5	7.8	13.7	9.7
競馬・競艇・競輪・パチンコ・宝くじ	14.2	3.9	20.4	1.6	9.6
その他	8.3	6.8	7.2	5.9	7.0
登山・ハイキング	9.3	5.1	6.9	6.7	7.0
写真	9.9	5.4	8.5	3.5	6.7
趣味はない	7.7	8.3	7.5	6.5	7.5

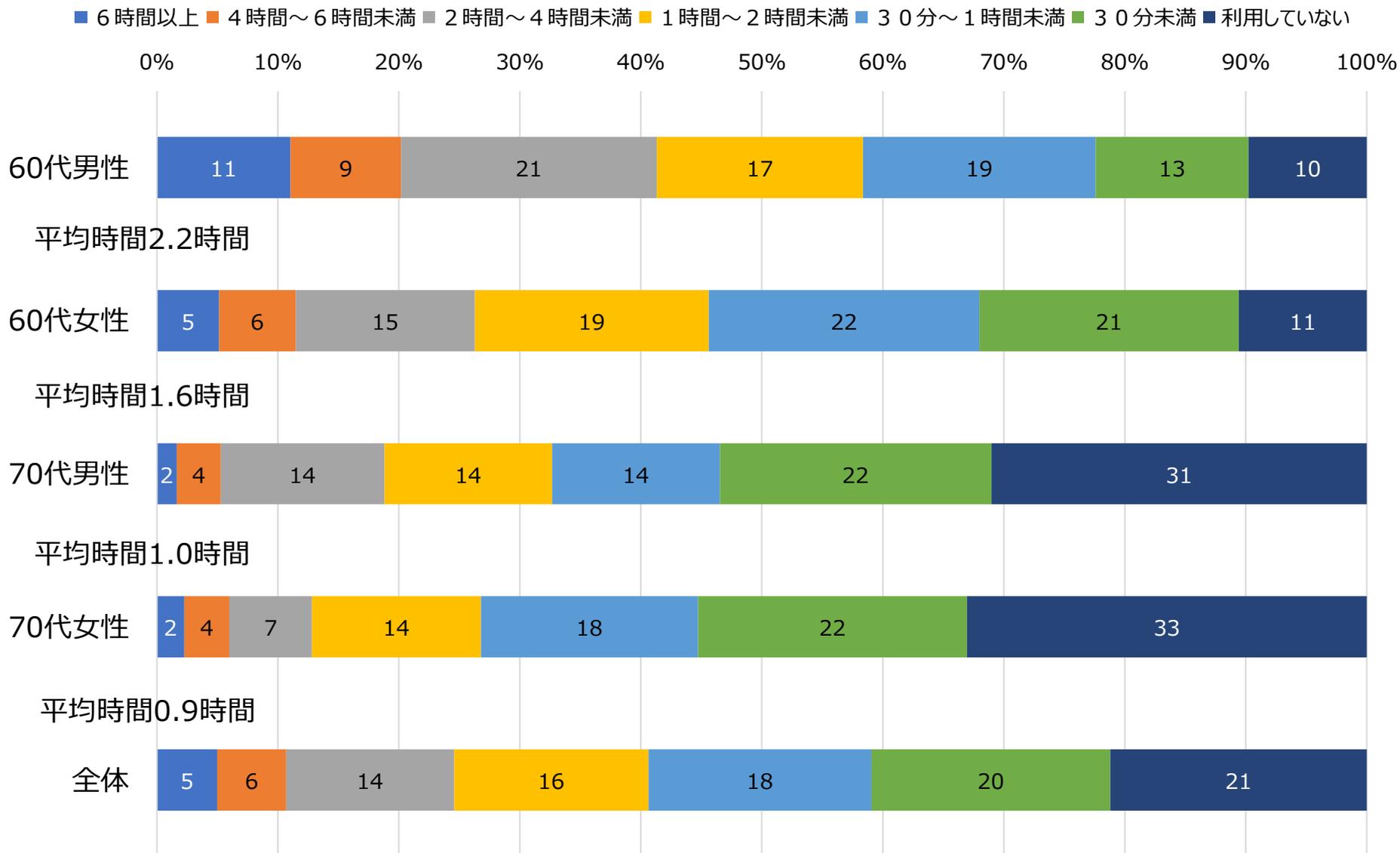
7割以上が週1回以上実施。年代・性別の差は少ない。



主婦・主夫、無職は頻度が多い



60代が長い。また男女では男性が長い。



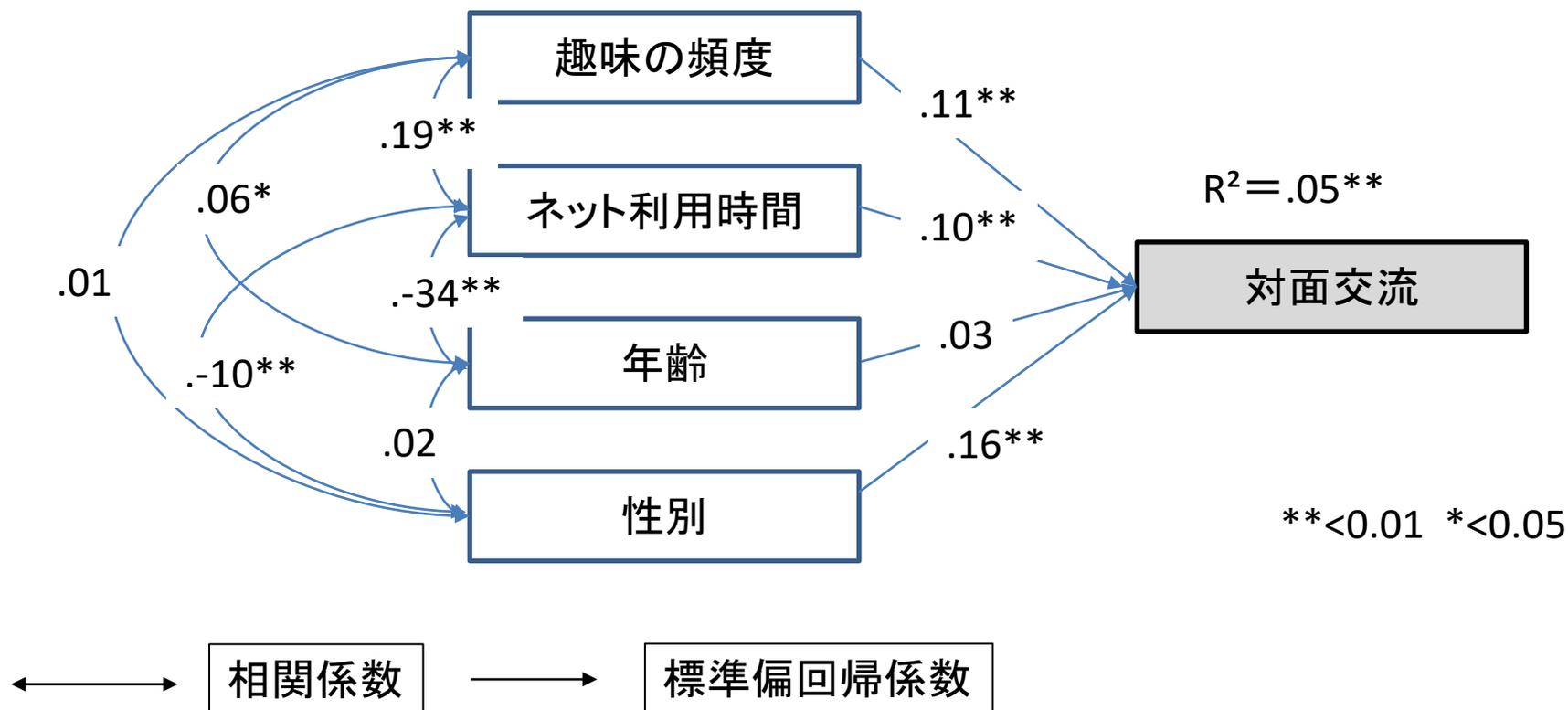
対面交流には「趣味の頻度」「ネット利用時間」が関連している

説明変数	β	r
趣味の頻度	0.11 **	0.13 **
ネット利用時間	0.10 **	0.10 **
年齢	0.03	0.01
性別	0.16 **	0.16 **
R ²	0.05 **	
Adj.R ²	0.05 **	
N	1,299	

注) β : 標準偏回帰
係数 r : 相関係数

**p<.01 *p<.05

対面交流には「趣味の頻度」「ネット利用時間」が関連している



◆本研究の結果

「対面交流をする頻度」と「趣味の頻度」、「インターネット利用時間」の間には関係が認められた

趣味活動にインターネットを活用している場合があり、それが対面交流に結びついている可能性

インターネットでの趣味活動は、外出を促すだけでなく、**新型コロナウイルス感染拡大のように、外出が規制を受けた時にも活動の継続**につながる可能性を持っている。

また、**加齢や疾患により外出が困難になった時**も、自宅また施設でインターネットを活用することにより**活動の継続**が可能ではないか。

趣 味
【参 考】

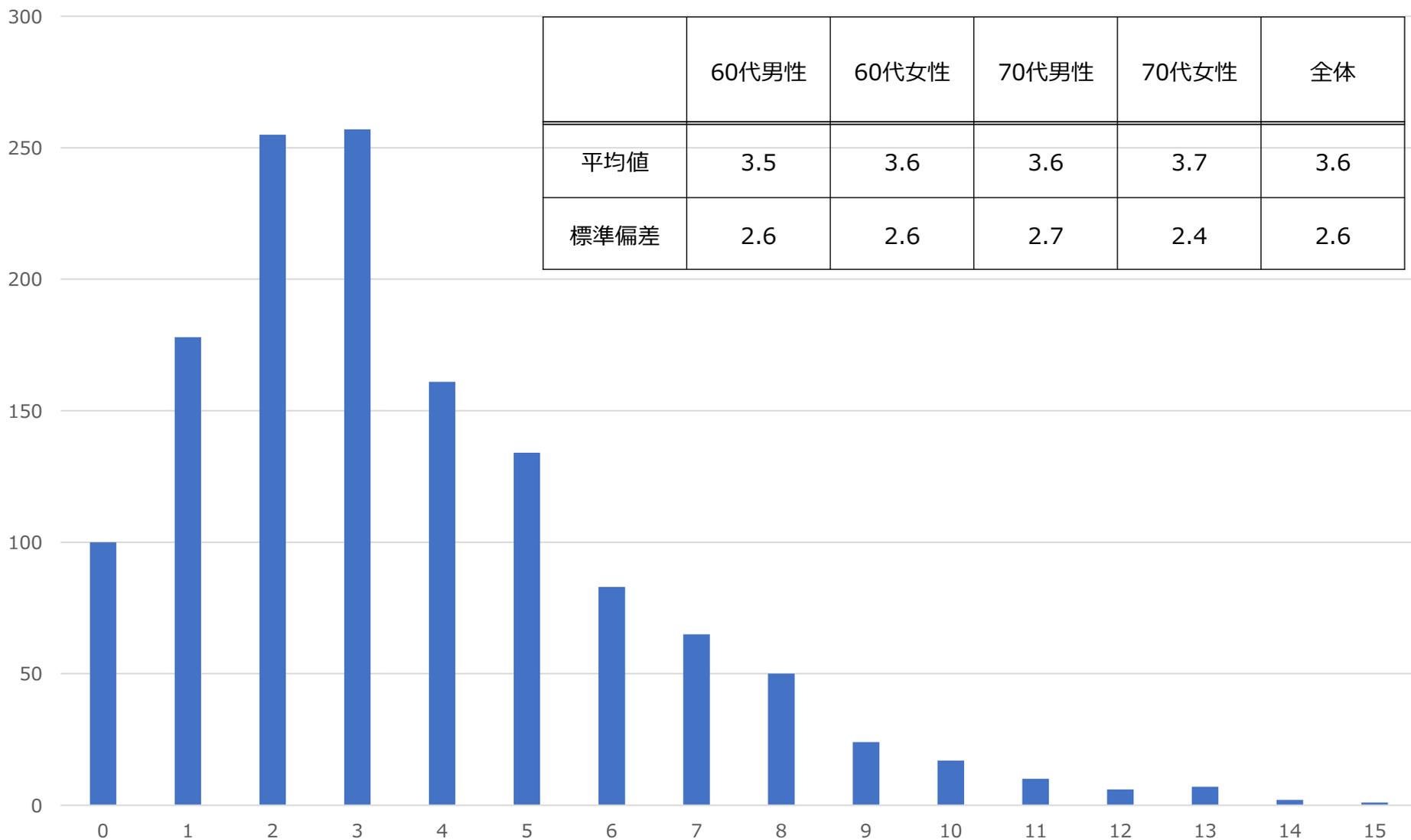
7因子を抽出

	因子						
	静寂	外出	散策	家庭	スポーツ 観戦	ネット・ ゲーム	発声
美術鑑賞	0.53	0.19	0.10	0.12	-0.03	-0.01	0.00
音楽鑑賞	0.51	0.05	0.02	-0.03	0.04	0.15	0.16
読書	0.49	0.00	0.12	0.02	0.01	0.00	-0.10
映画鑑賞	0.39	0.17	-0.11	-0.03	0.07	0.05	0.06
学習・自己啓発	0.33	0.03	0.06	0.05	-0.01	0.11	0.01
旅行	0.15	0.62	0.20	-0.01	0.07	0.03	-0.01
グルメ	0.03	0.39	0.01	0.24	0.04	0.01	0.06
行楽	0.13	0.37	0.10	0.03	0.01	0.00	0.06
登山・ハイキング	0.03	0.13	0.48	-0.04	-0.02	0.03	-0.06
徒歩・ウォーキング	0.11	0.04	0.42	0.12	0.05	-0.02	0.07
写真	0.09	0.16	0.19	0.01	-0.02	0.17	0.07
自身が行なうスポーツ	0.00	0.11	0.19	0.06	0.16	0.04	-0.03
料理	0.10	0.07	-0.02	0.45	0.02	0.02	0.14
手芸	0.05	0.05	0.00	0.41	-0.13	-0.03	-0.05
庭いじり・ガーデニング	-0.06	0.02	0.14	0.32	0.01	-0.03	-0.06
スポーツ観戦	0.14	0.10	-0.01	-0.04	0.66	0.03	0.03
競馬・競艇・競輪・パチンコ・宝くじ	-0.06	-0.03	0.05	-0.12	0.19	0.11	-0.02
インターネット	0.17	0.12	0.05	-0.05	0.08	0.57	-0.01
ゲーム（囲碁・将棋含む）	0.04	-0.04	-0.01	0.00	0.04	0.34	-0.03
カラオケ・合唱	0.04	0.08	0.00	0.01	0.00	-0.04	0.61

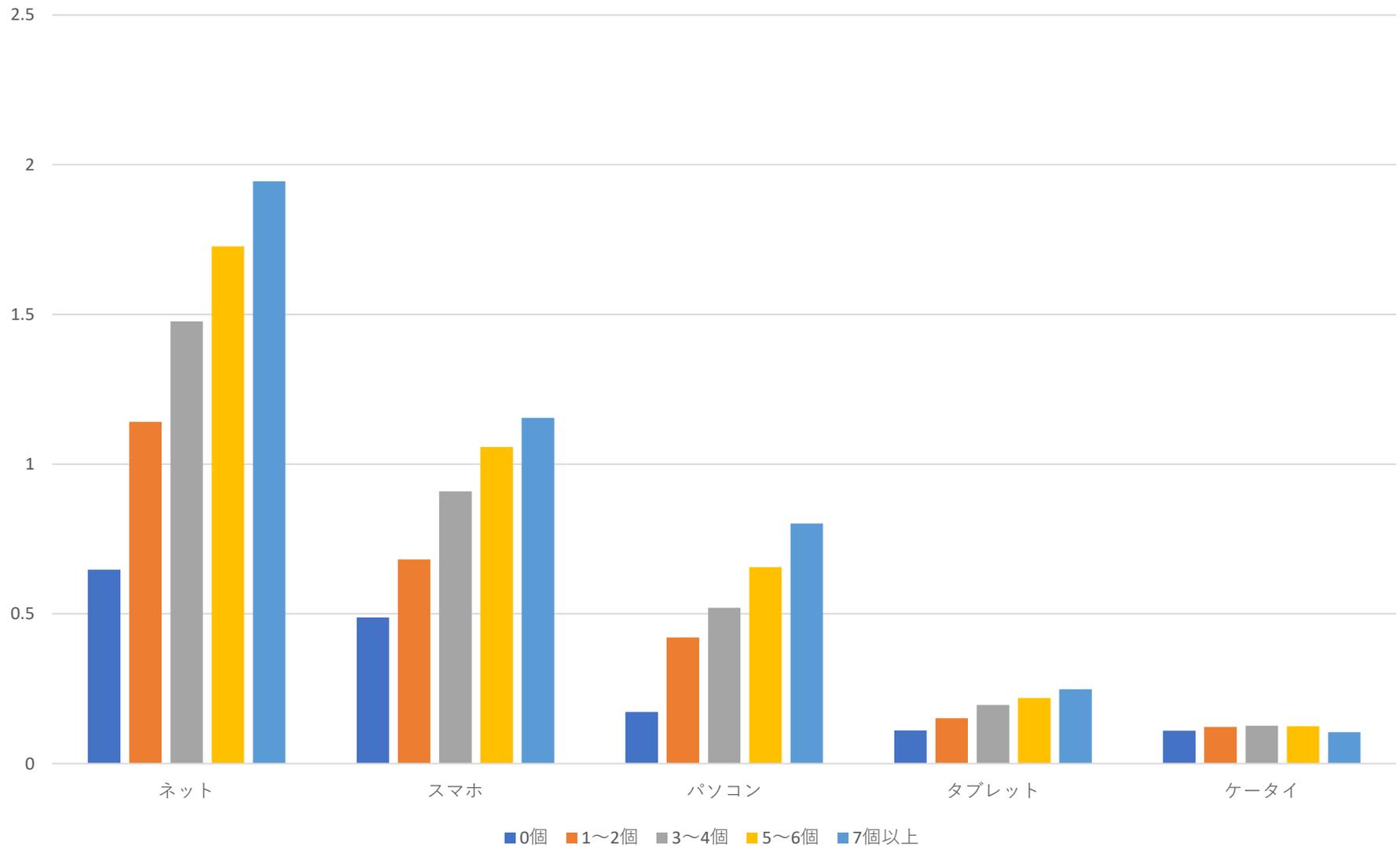
6クラスタ

	クラスタ					
	家庭	外出	散策・外出	発声	多趣味	家中
静寂	-0.26	-0.13	-0.13	-0.06	1.69	-0.22
外出	-0.13	0.72	0.56	0.15	0.44	-0.52
散策	-0.19	-0.07	1.75	-0.08	0.20	-0.20
家庭	0.94	-0.31	-0.11	-0.01	0.20	-0.26
スポーツ観戦	-0.27	0.04	-0.11	-0.03	0.33	0.03
ネット・ゲーム	-0.17	-0.05	0.19	-0.17	0.33	0.02
発声	-0.17	-0.26	-0.31	1.70	-0.01	-0.20
	199	229	79	127	124	492

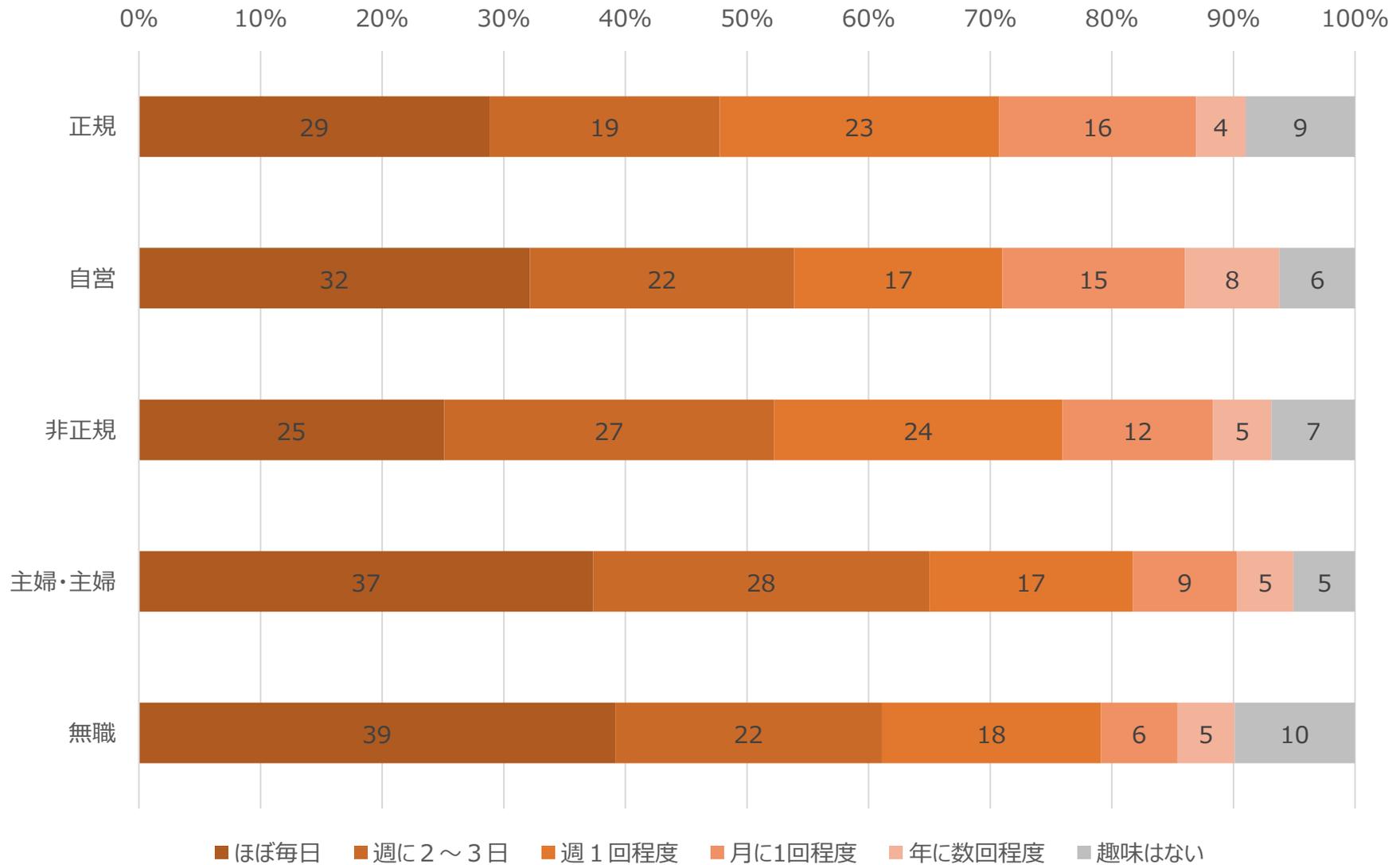
「旅行」「散歩」「庭いじり」が3割を超える。9割を超えるシニアが趣味を持っている。



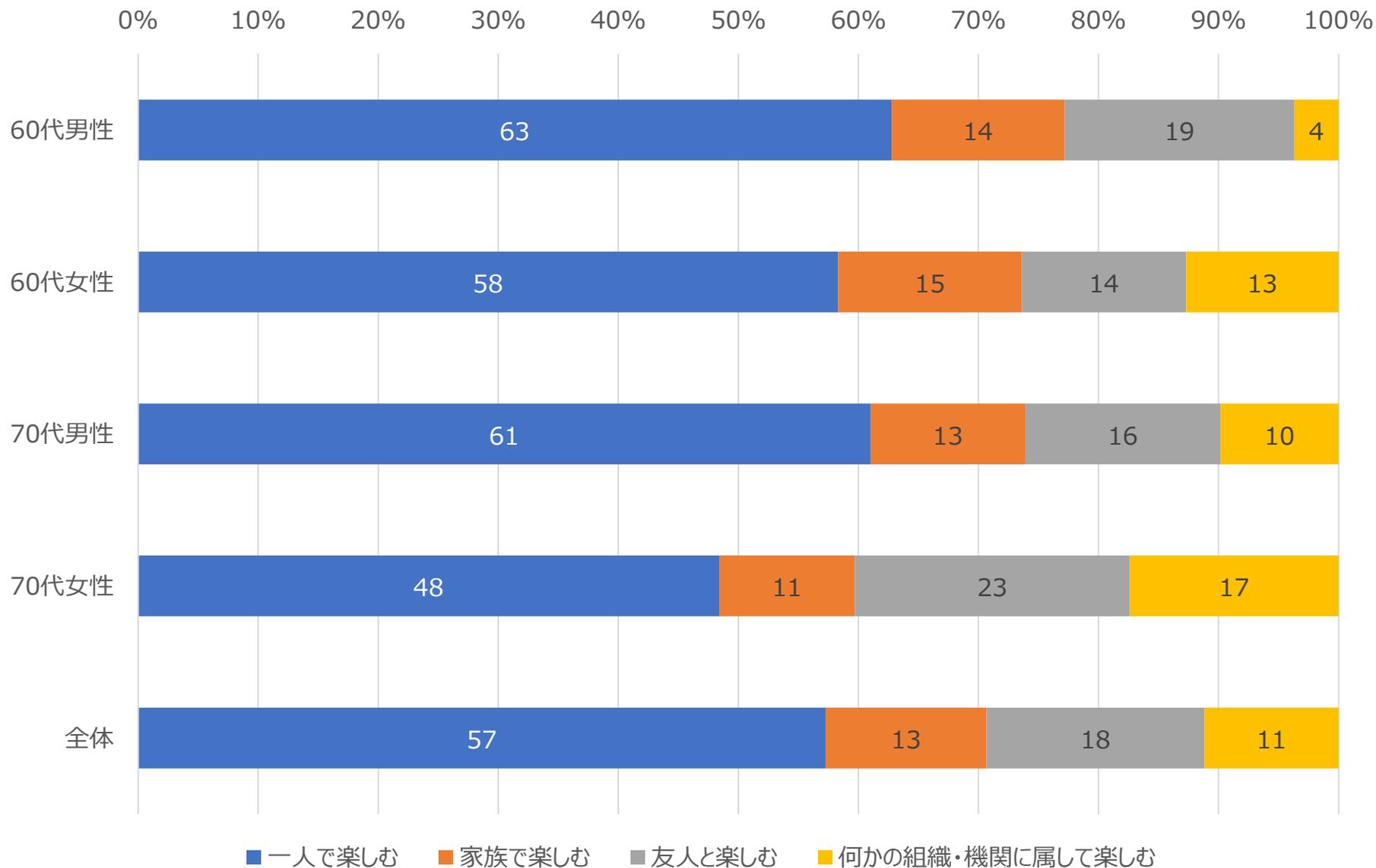
多趣味のシニアほどネット利用時間が長い



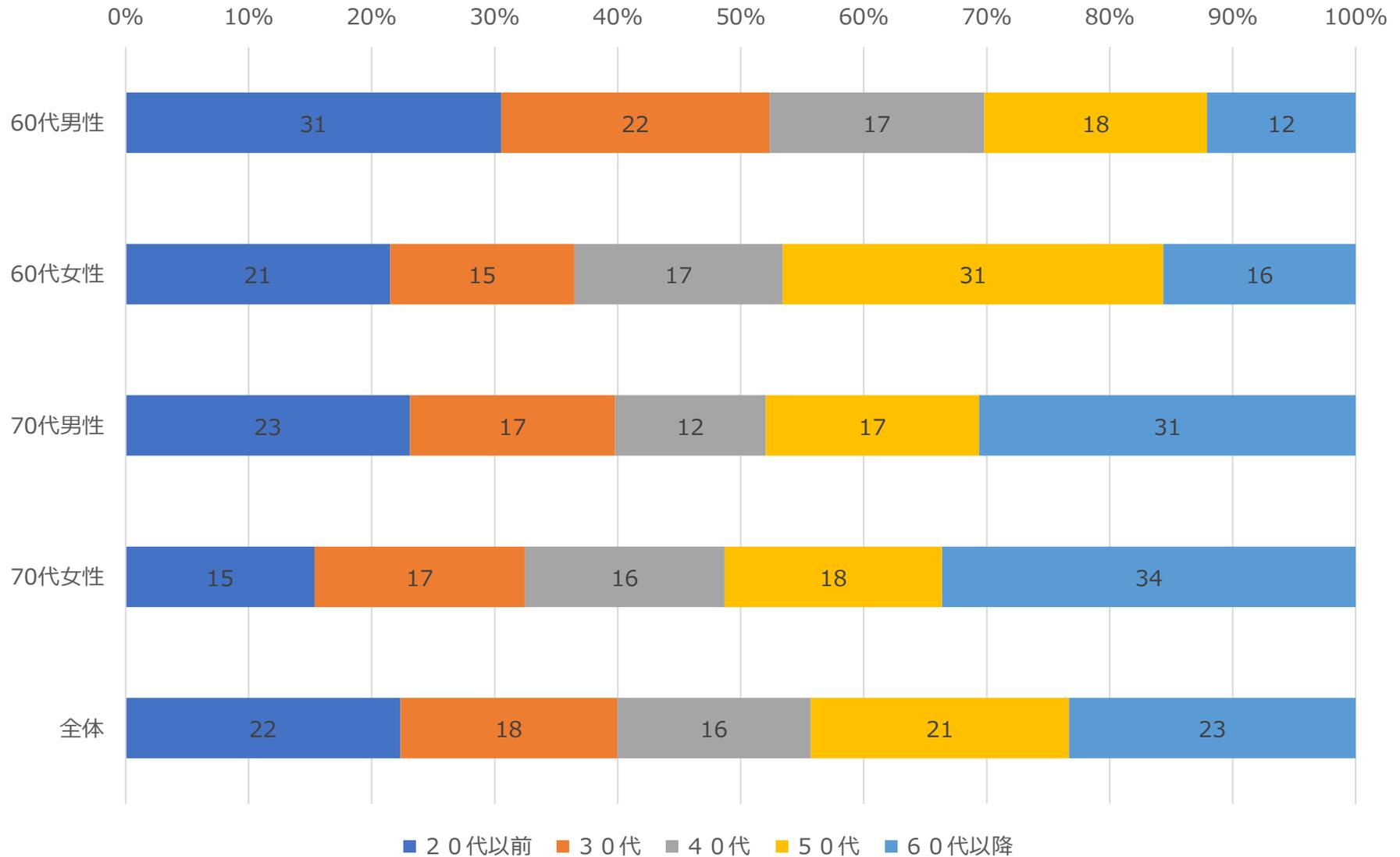
主婦・主夫、無職は頻度が多い



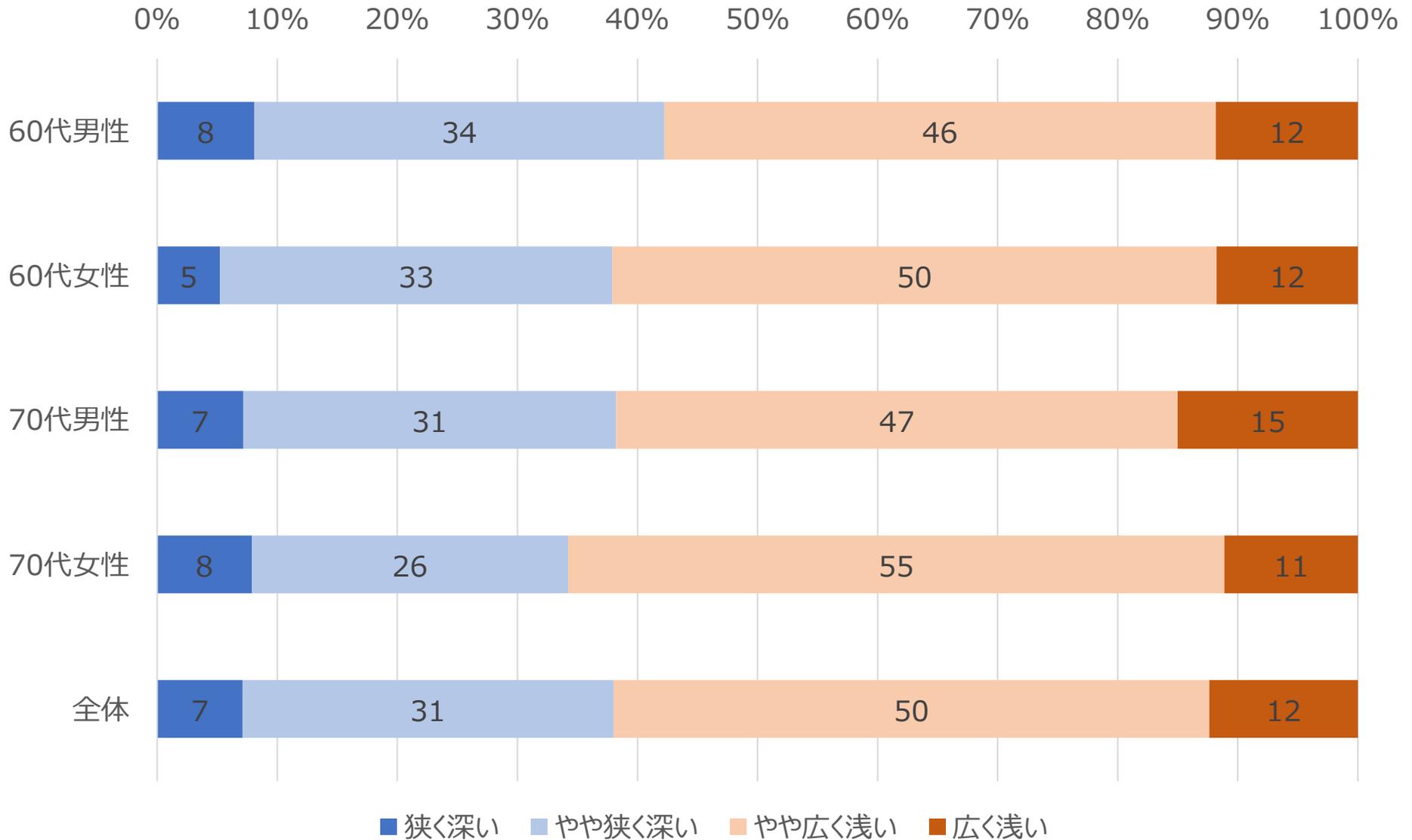
6割が趣味は主に一人で楽しむ



半数以上が40代以前から始めている。男性の方が開始年齢が低い。



4割程度が狭く深い。年代・男女差は少ない。



項目	内容
種類	93%が趣味を保有。上位は「旅行」「散歩」「庭いじり」。
個数	平均3.6。性年代差異は少ない。
個数とネット利用時間	多いと長い。
頻度	7割が週1回以上。
頻度と性年代	関係は見られない。
頻度と職業	無職・主婦は多い。
趣味の楽しみ方	6割が一人
趣味の開始	40代以前が半数。男性の方が早い。
考え方	4割程度が狭く深い。